

# 第11回 中央西地区語らん場 を開催しました

(永昌町・永昌東町・栄田町・西栄田町・大さこ町)

【開催場所】 栄田町公民館 【参加者】 47名

令和6年  
9月19日  
開催

ご参加くださった皆さま、  
ありがとうございました。

まだまだ残暑厳しい中、  
自治会はじめ、老人会、民生  
委員、福祉協力員、婦人会、  
介護・医療の専門職の方々が  
ご参加くださいました。



団塊ジュニア世代が65歳を  
迎える2040年には、高齢者  
人口はピークを迎えます。

今回は、前回語らん場で出た  
「意見まとめシート」を見ながら、  
“誰もが住みよい町、地域にして  
いくために”参加者同士で意見  
を出し合いました。

## 意見交換テーマ1

自分の住んでいる町では、集い  
の場や困ったらお手伝いしあつた  
りする繋がりがありますか？



## 意見交換テーマ2

今、取り組んでいる活動をもっと進  
めていくために、まず、今後出来そ  
うなことは？



# 今のこと。これからのこと。

自分の住んでいる町のことを、参加者で意見交換しました。

集いの場や困ったらお手伝いしあったりする繋がりがありますか？

今、取り組んでいる活動をもっと進めていくために、まず、今後、出来そうなことは？

お互い、顔を見知っていたら困っていると声をかけやすいから、会える場をつくる。

もっと遊べる、集える場、誰でもいつでも集える場を持ちたい。



私の町でも、いきいきサロンを作ってはどうか。

お店まで遠いから、買物に困る人が増えそう。移動販売に来てもらえないかな。

ボランティアの組織化を考えてます。地域の高齢者がどんなことに困ってるのか把握したい。何だったら、ボランティアができるかなあ。

語らん場から動かん場へ、移っていかないとね。うちの町でも語らん場しよう。

男性の福祉協力員を増やすなど、男性が役割を持てる場を。

自分たち、地域の高齢者が住みやすい地域にするために何ができるのかなと、地域の皆さんと一緒に考える貴重な場となりました。

作成：生活支援コーディネーター 田浦